

人と自然の応援情報誌

ハーモニー63号
20巻②-034A3

ひとはく新聞



TEL:079-559-2001 (ひとはくの代表番号です)
TEL:079-559-2002 (学校や団体のご利用の方はこちらにおかけください)
TEL:079-559-2003 (セミナーやイベントなどのお問い合わせ先です)

〒669-1546
兵庫県三田市弥生が丘6丁目
兵庫県立人と自然の博物館
(兵庫県立大学 自然・環境科学研究所)

<http://hitohaku.jp>

シリーズ 地域の達人 松本修二氏 ため池と生物多様性



兵庫県南部を中心に、湿地・ため池に生育する植物の調査のほか、保全のために市民活動や啓発活動を行っている、ウエットランドリサーチ代表の松本修二氏に聞いた。「ため池は多様性が高いんです。それを育む環境は地域の財産ですよ。」と語る。

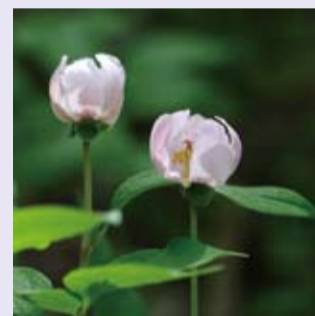
生物多様性 ひょうご戦略

ただいま、策定中!

兵庫県では今年度4月より、『生物多様性ひょうご戦略(仮称)』という生物とのよりよい関係を築くための指針づくりを自然環境課が中心となって進めている。

冬のひとはく図鑑

篠山で 貴重な植物 の自生地 発見



篠山市で貴重な植物の自生地が相次いで発見された。ひとつはペニバナヤマシャクヤクで、もうひとつはクリンソウの大群生地だ。

生物多様性を支える人たち

「ひとはくの果たす役割は重要であると再認識している。」と語る、副館長のコラム。

開催しました フェアール大作戦!



会期中に250以上のイベントを毎日開催した。



11月3日に第13回目を実施し、2万人以上の来場者を迎えた、ひとはくフェスティバル。大きなイベントに発展してきた、ひとはくフェスティバルの歴史を解剖する。

自然の再生と共生 国際フォーラム in 淡路夢舞台

10月4日(土)に、人と自然の博物館と(財)淡路花博記念事業協会の主催で、フランス・アペロン県のピーエル・マリー・ブランケ副議長とフランス・ミクロポリス館のヤスミン・ママ館長を招き、「自然の再生と共生国際フォーラムin淡路夢舞台」を開催した。



第4回 共生のひろば 開催!



共生のひろばは、市民による地域の自然・環境・文化にまつわる研究と活動の発表会。今年度も2月11日(水・祝)に開催。是非、お越しあれ!

ひとはく サイエンスショー

ひとはくがサイエンスワンダーランドに! 2月15日(日)に博物館内で開催される。理科のおもしろい実験や実演などがもりだくさん。

年末年始特別企画 干支(えと)展

ネズミさん、
ありがとう。
ウシさん、
ようこそ!



ひとはく
セミナー
情報も満載!